2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名　ソマール株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8152　URL https://www.somar.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 曽谷 太
問合せ先責任者　(役職名) 経営戦略部長　(氏名) 佐藤 弘人　TEL 03-3542-2152
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　:　無
決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,315	12.8	694	129.4	860	161.6	689	676.3
2024年3月期第1四半期	6,485	7.2	302	66.2	328	47.9	88	△51.2

(注) 包括利益　2025年3月期第1四半期　775百万円　(61.6%)　2024年3月期第1四半期　479百万円　(△11.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	355.46	―
2024年3月期第1四半期	45.78	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	27,985	17,893	63.9
2024年3月期	26,859	17,254	64.2

(参考) 自己資本　2025年3月期第1四半期　17,893百万円　2024年3月期　17,254百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	―	0.00	―	70.00	70.00
2025年3月期	―				
2025年3月期(予想)		0.00	―	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 2025年 3月期の連結業績予想(2024年 4月 1日～2025年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	14.4	1,850	2.9	1,950	2.2	1,400	2.1	722.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	1,958,734 株	2024年3月期	1,958,734 株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	19,941 株	2024年3月期	19,853 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	1,938,809 株	2024年3月期1Q	1,939,257 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結損益計算書に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進展し、雇用・所得環境が改善するなかで、各種政策の効果もあり、国内景気は回復の兆しを見せ始めております。一方、海外では欧米主要国での継続した高い金利水準により長期的な円安基調となったことや、ウクライナ侵攻問題の長期化によるエネルギー・資源価格の大幅な上昇、中東問題、中国の不動産不況などの影響から、当社グループの経営環境は、依然として先行き不透明な状況が続くものと想定しております。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速５Ｇ通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・建材、化粧品、介護食、特殊素材を用いたアパレル等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

その結果、自動車部品業界向けの高機能樹脂製品が海外において大きく伸長したことや、スマートフォン向け製品の受注動向が堅調に推移したことで、営業利益が前年同四半期を大幅に上回りました。

当第１四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が73億1千5百万円（前年同四半期比12.8％増）、営業利益が6億9千4百万円（前年同四半期比129.4％増）、経常利益は為替差益1億7百万円を計上したことにより8億6千万円（前年同四半期比161.6％増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益1億8千3百万円を計上したことや、前第１四半期連結累計期間において退職給付制度改定損3億2千万円を計上したこと等により、前年同四半期を大きく上回り6億8千9百万円（前年同四半期比676.3％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

［高機能材料事業］

電子機器業界向け関連製商品の販売では、スマートフォン市場は受注環境が緩やかに回復しつつあり、特に海外子会社での取引が継続して好調だったことで遮光部材の販売が伸長し、売上高は前年同四半期を上回りました。自動車部品業界向け製商品の販売では、国内各メーカーでの工場稼働停止の影響や中国でのＥＶ減速の懸念があるものの、北米を中心にグローバルで高機能樹脂製品の販売が好調に推移し営業利益を大きく押し上げる要因となりました。その結果、当事業全体の売上高は50億6千6百万円（前年同四半期比10.6％増）、営業利益は6億7千8百万円（前年同四半期比136.5％増）となりました。

（主な製商品群の概況）

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
コーティング製品	スマートフォン向け電子部品製造用途は、市場の回復により、フィルム表面加工製品の販売が増加したことや、海外において遮光部材の販売が順調に推移し52.2％の増収となりました。
高機能樹脂製品	自動車部品業界向け電気絶縁用樹脂は、ハイブリッド車・ＥＶ関連部品用途で北米等での販売活動が奏功したことで、前年同四半期を上回り19.7％の増収となりました。
電子材料	自動車部品向けの車載用モーター絶縁材料は堅調に推移したものの、産業機器モーターやトランス向け絶縁材料の需要が低下したことに加えて、前年度におけるスポット販売の影響で、6.0％の減収となりました。
機能性樹脂	自動車部品業界向けの販売は前年同四半期並みに推移したものの、電子機器業界向けの販売では受注が減少したこと等で11.7％の減収となりました。

［環境材料事業］

主要な販売先である製紙業界では、新聞・塗工紙の市場は継続して縮小し、落ち込みが少なく比較的堅調である板紙・生活産業用途も物価上昇による消費者の買控えを背景にＥＣ出荷用段ボールの需要が伸び悩み、事業を取り巻く環境は厳しいものとなっています。このような状況下、当社グループにおいては、市場ニーズに応じて、特長を生かした差別化製商品の拡販と新たな用途や周辺市場の開拓等に取り組んでまいりました。製品販売では、板紙分野を中心に顧客ニーズに対応した差別化できる製品の市場開拓を行ったことで、前年同四半期を上回りました。商品販売では、塗工用バインダーが一部顧客での商流変更に伴う取引の増加により、前年同四半期を大きく上回りました。その結果、当事業全体の売上高は16億9百万円（前年同四半期比38.9％増）、営業利益は6千2百万円（前年同四半期比62.5％増）となりました。

（主な製商品群の概況）

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
ファインケミカルズ	一部の製品では需要の低下により販売数量が減少したものの、板紙分野への拡販に注力したことで、0.7%の増収となりました。
製 紙 用 化 学 品	主要取扱商品の塗工用バインダーが一部顧客での商流変更により、取引が大幅に増加したことで、52.0%の増収となりました。

［食品材料事業］

食品材料事業では、健康に優しく特長ある天然の食品素材を主要な取扱商品としており、的を絞った施策を推進し、食品業界などへの拡販に鋭意注力してまいりました。これに加えて、これまでの営業活動で蓄積した食品に関わる様々な情報や技術を活用して、新規商材の発掘や市場の開拓、更には、独自性の発揮できる新規複合食品素材の開発といった新たなテーマにも積極的に取り組んでおります。当第１四半期連結累計期間の販売では、増粘安定剤はアラビアガムの安定供給に努めたことで順調にシェアを拡大したものの、ローカストビンガムが過年度の不作に起因した供給環境の悪化により市場価格が乱高下したことで、使用量の削減や代替品への切り替え等グローバルでの需要が急減し前年同四半期と比較して販売数量・価格が減少しました。乾燥野菜は、安定した需要に下支えられ、新規商材や新規販売も堅調に推移したことで売上は前年同四半期を上回りました。その結果、当事業全体の売上高は6億1千5百万円（前年同四半期比14.4%減）、営業利益は2千7百万円（前年同四半期比43.6%減）となりました。

（主な製商品群の概況）

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
食 品 素 材 等	乾燥野菜は新規販売等により売上が増加したものの、増粘安定剤はローカストビンガムが供給環境の悪化に伴う市場価格の乱高下により日本のみならず、グローバルでの需要が大幅に低下したことから14.4%の減収となりました。

［その他の事業］

当社グループの成長を支える新たな事業領域を開発・育成すべく取り組んでいる「その他の事業」では、アフリカから輸入した切り花の国内販売や、新市場開発用途の商材を発掘しつつ、新規ビジネスの可能性を追求する活動に積極的に取り組んでおり、試販等による事業化への検討を進めております。当第１四半期連結累計期間における輸入生花の販売は、市場が安定しているものの、天候不順による輸送航空機の欠航の影響で輸入仕入が減少したこと等で前年同期を下回りました。その結果、「その他の事業」の売上高は2千2百万円（前年同四半期比4.0%減）、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業損失3百万円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、279億8千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億2千5百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が2億6千万円減少したものの、現金及び預金が6億2千6百万円、受取手形及び売掛金が2億8千3百万円、電子記録債権が2億2千万円、棚卸資産が1億5千8百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

負債については、100億9千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億8千6百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億2千2百万円減少したものの、短期借入金が5億円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産については、178億9千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億3千9百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億5千4百万円減少したものの、利益剰余金が5億5千3百万円（6億8千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、1億3千5百万円の剰余金の配当による減少）、為替換算調整勘定が2億4千3百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年５月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2024年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2024年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,343,663	6,970,065
受取手形及び売掛金	6,257,934	6,541,416
電子記録債権	2,059,068	2,279,128
棚卸資産	4,486,047	4,644,276
その他	320,709	339,461
貸倒引当金	△11,820	－
流動資産合計	19,455,604	20,774,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,697,926	1,716,980
機械装置及び運搬具（純額）	855,977	835,237
土地	422,634	424,399
建設仮勘定	98,495	172,165
その他（純額）	167,639	159,391
有形固定資産合計	3,242,672	3,308,174
無形固定資産	115,922	115,961
投資その他の資産		
投資有価証券	2,982,816	2,722,414
その他	1,577,024	1,578,955
貸倒引当金	△514,169	△514,134
投資その他の資産合計	4,045,671	3,787,236
固定資産合計	7,404,267	7,211,372
資産合計	26,859,871	27,985,721
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,863,665	3,741,401
短期借入金	－	500,000
未払法人税等	263,273	243,635
賞与引当金	173,000	89,319
役員賞与引当金	80,000	79,970
その他	803,175	946,944
流動負債合計	5,183,113	5,601,270
固定負債		
長期借入金	4,000,000	4,000,000
資産除去債務	64,461	64,504
退職給付に係る負債	5,688	5,729
その他	352,391	420,295
固定負債合計	4,422,541	4,490,529
負債合計	9,605,655	10,091,800

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2024年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	4,406,235	4,959,690
自己株式	△59,602	△59,975
株主資本合計	13,935,796	14,488,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,226,687	1,071,694
繰延ヘッジ損益	6,255	4,103
為替換算調整勘定	2,085,476	2,329,243
その他の包括利益累計額合計	3,318,419	3,405,041
純資産合計	17,254,215	17,893,920
負債純資産合計	26,859,871	27,985,721

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）
売上高	6,485,173	7,315,146
売上原価	5,318,002	5,667,797
売上総利益	1,167,170	1,647,349
販売費及び一般管理費	864,477	952,969
営業利益	302,692	694,380
営業外収益		
受取利息	7,092	10,204
受取配当金	29,799	35,485
為替差益	－	107,245
その他	10,946	24,472
営業外収益合計	47,838	177,408
営業外費用		
支払利息	5,387	5,520
債権売却損	1,027	1,181
為替差損	12,939	－
その他	2,244	4,518
営業外費用合計	21,599	11,220
経常利益	328,931	860,567
特別利益		
投資有価証券売却益	－	※ 183,199
特別利益合計	－	183,199
特別損失		
退職給付制度改定損	320,232	－
減損損失	3,277	24,004
特別損失合計	323,509	24,004
税金等調整前四半期純利益	5,421	1,019,762
法人税、住民税及び事業税	102,232	197,341
法人税等調整額	△185,367	133,243
法人税等合計	△83,134	330,585
四半期純利益	88,556	689,177
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△224	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,781	689,177

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）
四半期純利益	88,556	689,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243,853	△154,993
繰延ヘッジ損益	18,159	△2,152
為替換算調整勘定	140,005	243,767
退職給付に係る調整額	△10,602	－
その他の包括利益合計	391,416	86,621
四半期包括利益	479,973	775,799
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	480,198	775,799
非支配株主に係る四半期包括利益	△224	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自2023年４月１日　至2023年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注)	合計
	高機能材料事業	環境材料事業	食品材料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,582,757	1,159,024	719,536	6,461,319	23,853	6,485,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	4,582,757	1,159,024	719,536	6,461,319	23,853	6,485,173
セグメント利益又は損失（△）	286,801	38,608	48,019	373,428	△3,489	369,939

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり新規開発事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	373,428
「その他」の区分の損失（△）	△3,489
全社費用（注）	△67,246
四半期連結損益計算書の営業利益	302,692

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自2024年４月１日　至2024年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注)	合計
	高機能材料事業	環境材料事業	食品材料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,066,975	1,609,549	615,724	7,292,250	22,896	7,315,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	5,066,975	1,609,549	615,724	7,292,250	22,896	7,315,146
セグメント利益又は損失（△）	678,181	62,726	27,074	767,982	△2,948	765,033

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり新規開発事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	767,982
「その他」の区分の損失（△）	△2,948
全社費用（注）	△70,653
四半期連結損益計算書の営業利益	694,380

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)
※　投資有価証券売却益
前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2023年６月30日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2024年６月30日）
旭化成株式会社及び三菱電機株式会社の株式を売却したことによるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）
減価償却費	93,652千円	105,983千円